

次代のカルチャーを担う若きクリエイターが集結

Spiral Press Release
March 2008

第9回SICF GWにいよいよ開催

ゲスト審査員3名が決定！

2008年5月2日(金)～5月5日(月・祝)



スパイラル／株式会社ワコールアートセンターは、第9回S I C F(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)を2008年5月2日(金)～5日(月・祝)にスパイラルホール(スパイラル3F)で開催します。

若き才能がスパイラルホールに集結！ 個性あふれる作品と出会う刺激的な4日間

S I C Fは、自由な感性でクオリティの高い創造活動を展開するクリエイターにプレゼンテーションの場を提供するイベントです。200組を超える応募の中から、厳正な書類審査を通過した100組が2日間ずつ2会期にわけて展示を行います。スパイラルホールに設置した50のブースを舞台に美術、写真、デザイン、ファッション、映像、音楽など幅広いジャンルの作品が集結します。



第8回SICF会場内の様子

各界で活躍中の多彩な審査員陣が次代を担う才能を選定

S I C Fではグランプリをはじめとする各賞を設け、受賞者の活動を積極的にバックアップしています。

今年は、ゲスト審査員は、ハワード・リクター (Nike, Inc 東京デザインスタジオ クリエイティブディレクター)、

ひびのこづえ (コスチュームアーティスト)、

村田真 (アートジャーナリスト) の3名に決定。

アップリンク主宰の浅井隆、

INTERNATIONAL GALLERY BEAMS 兼 B GALLERY プランナーの佐藤尊彦、

スパイラル・チーフキュレーターの岡田勉ら、

S I C Fを熟知したレギュラー審査員陣とともに各賞の選定にあたります。

グランプリ受賞者には、顕彰としてスパイラルで個展を開催する権利を授与。そのほか、スパイラルでのプロジェクトや展覧会への参加など、新たなステップへ踏み出すさまざまなチャンスを提供します。

ペインティング、写真、インスタレーション…、今年の出展はファインアートが中心

今年は女性作家の積極的な応募が目立ったほか、外国籍のアーティストも数組が参加。第9回S I C Fは例年に増して、多様なバックグラウンドを持つクリエイターたちの多彩な作品が揃います。特に今回はデザイン分野の作品に比べ、ペインティング、写真、インスタレーションなどの表現様式で作家自身の強い主張が感じられるアート作品が多いのが特徴です。

個性あふれる若手クリエイターたちの刺激的な競演にご期待ください。



来場者とクリエイター本人との盛んなコミュニケーションも魅力の一つ

この件に関するお問い合わせ先

広報担当: 加藤美穂、清水さえみ

スパイラル／株式会社ワコールアートセンター

〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23

TEL 03-3498-5605 FAX 03-3498-7507

スパイラル／株式会社ワコールアートセンターは、株式会社ワコールが100%出資して1985年に設立した関連会社です。東京・青山の複合文化施設「スパイラル」を拠点に、アートの事業化を目指し、展覧会やイベントの企画、生活雑貨の販売、CDレーベルの運営、トータル・ビューティ・サロン、レストランなど、幅広い事業を通して、生活とアートの融合したライフスタイルを提案しています。

【ゲスト審査員】（50音順 敬称略）

■ハワード・リクター(Nike, Inc. 東京デザインスタジオ クリエイティブディレクター)

アメリカ出身。ヨーロッパ、アジアの両方で生活をし、ワシントン大学で工業デザインの学位を取得。

過去 11 年間、Nike のデザイナー及びクリエイティブディレクターとして多分野で活躍、

アジア地域ではブランドの位置付けを行ってきた。

Nike 東京デザインスタジオを立ち上げる為に、約 4 年前に東京に拠点を移動。

中目黒にあるスタジオでは、日本文化から受ける斬新な発想を元に、日本市場に焦点を置きデザイナー達が製作作業を行っている。

■ひびのこづえ(コスチュームアーティスト)

東京芸術大学美術学部デザイン科視覚伝達デザイン卒業。

コスチュームアーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の舞台は多岐にわたる。

毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞受賞、他展覧会多数。

97 年、作家名を内藤こづえより改める。

NHK 教育テレビ「にほんごであそぼ」「からだであそぼ」のセット衣装を担当中。

■村田 真 (アートジャーナリスト)

1954 年東京都生まれ。東京造形大学絵画専攻卒業。

ぴあ編集部を経て、フリーランス美術ジャーナリスト。

『ぴあ』、『毎日新聞』、『季刊メセナ』、『BT 美術手帖』などに執筆。

訳書＝『ビジュアル美術館 12 絵との対話』。著書＝『現代日本アーティスト名鑑』

『アーティスト・イン・レジデンス研究会報告書』（共著）など。

2004 年 4 月に開校した横浜の「BankART スクール」では校長を務める。

【レギュラー審査員】（50音順 敬称略）

■浅井隆(アップリンク主宰)

1987年にアップリンクを設立。デレク・ジャーマン監督『BLUE』『ザ・ガーデン』、黒沢清監督『アカリイミライ』、矢崎仁司監督『ストロベリーショートケイクス』などをプロデュース。

2008年公開のセルゲイ・ボドロフ監督『モンゴル』ではアソシエイト・プロデューサーを務める。

渋谷区宇田川町に映画館、イベントスペース、ギャラリー、カフェレストランのあるカルチャー・コンプレックスというコンセプトの元にアップリンクの拠点となるスペースを運営する。（第1回目から毎年審査）

■佐藤尊彦(INTERNATIONAL GALLERY BEAMS兼 B GALLERY プランナー)

BEAMSが誇るメンズハイファッションの殿堂、International Gallery BEAMSのショッパディレクション補佐として商品提案やデザイナーとのエキシビション等の企画立案を行なう。

またBEAMSとアートの接点、B GALLERYの代表のほか、N.Y.のインディペンデント雑誌「Lid Magazine」の日本担当を兼任。www.beams.co.jp（第5回目から毎年審査）

■岡田勉(スパイラルチーフキュレーター)

1988年入社以来、スパイラルで開催される展覧会等の企画・制作に携わる。

また、館外施設の展覧会やイベント、パブリックアート、ワークショップ等のプロデュースも行なう。

現在、スパイラルのチーフキュレーター。愛・地球博アートプログラムキュレーターをつとめた。

【顕彰について】

授賞者は審査員と、入場者の投票により決定します。受賞者には以下の特典が授与されます。

■グランプリ

スパイラル 1F ショウケースにて展覧会の開催

スパイラルペーパーでの紹介

次回のSICFへ出展招待

■準グランプリ

次回のSICFへ出展招待

■オーディエンス賞

次回のSICFへ出展招待

■審査委員賞

次回のSICFへ出展招待



佐藤誠高の作品をアートワークに使った
スパイラルペーパーVol.118

企画概要

- 【表記】 第9回SICF(スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)
または第9回SICF
- 【会期】 Aグループ 2008年5月2日(金)～5月3日(土・祝) 11:00～20:00
Bグループ 2008年5月4日(日・祝)～5日(月・祝) 11:00～20:00(但し5日は19:00まで)
授賞パーティおよびクロージング・パーティ 2008年5月5日(月・祝)19:30～
- 【会場】 スパイラルホール(スパイラル3F)
東京都港区南青山 5-6-23(東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅 B1 出口)
- 【開催形式】 会場を 50 のブース(h:2,420×w:1,650×d:1,800mm を予定)に分け、
クリエイターの方々に貸与。
ブース内では作品の展示や販売、プレゼンテーションを行っていただきます。
- 【応募条件】 インディーズクリエイターを自認する個人かグループ。または、クリエイターを支えるスクール、レーベル、
ギャラリー等の団体。開場時間中、会場に常駐できること。
- 【入場料】 1日券／一般 700 円 中学生以上 500 円
4日間フリーパス／一般 1,500 円、中学生以上 1,000 円
- 【お問い合わせ先】 SICF事務局(スパイラル内)TEL.03-3498-1171 FAX.03-3498-7848
Email. wacoalartcentersicf@spiral.co.jp
- 【URL】 <http://www.spiral.co.jp/sicf/>
- 【グラフィックデザイン】 マグニチュード グラフィックス
- 【会場構成】 CLIP
- 【企画制作】 スパイラル
- 【主催】 株式会社ワコールアートセンター
- 【過去のグランプリ受賞作品】



第1回
中原英隆



第2回
月岡彩



第3回
川瀬浩介



第4回
サクラヤスユキ



第5回
Atiek+D



第6回
塩保朋子



第7回
松田直樹